

二十五世観世左近元正三十三回忌追善

名古屋観世会

能
千

狂言

泣尼

井上松次郎

手

野曲之舞

千手

観世 清和

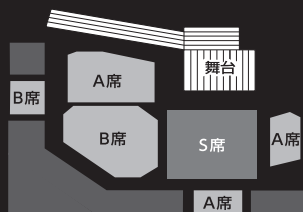
重衡

観世三郎太

名古屋能楽堂（名古屋城正門前）

令和4年9月23日【祝・金】

12時30分開演（11時30分開場）



S席	10,000円
A席	8,000円
B席	7,000円
学生券(25歳未満)	3,000円

※当日券は、500円増

お問い合わせ

名古屋観世会事務所（久田勘鷹方）
〒451-0041 名古屋市西区幅下2-10-9

TEL(052)265-5158
FAX(052)446-6025

番組

連吟 江口

今沢美和
近藤幸江
本田 勲

仕舞

海士 敦盛 羽衣 天鼓

星野路子
村井邦子
瀬戸洋子
久田三津子

久田勘吉郎
坂口貴信
上田公威
井上裕之真

仕舞

経正 松風 女郎 鶉飼

伊藤裕貴
松山幸親
山中雅志
吉沢 旭

杉浦悠一朗
坂井音隆
久田勘鷗
関根祥丸

舞囃子

融

祖父江修一

大鼓 河村総一郎
小鼓 船戸昭弘

太鼓 加藤洋輝
笛 竹市 学

仕舞

実盛 野宮

山階彌右衛門
武田宗和

井上裕之真
坂口貴信
井上裕久
関根祥丸

狂言

泣尼

僧 井上松次郎

尼 佐藤友彦
施主 鹿島俊裕

後見 佐藤 融

舞囃子

藤戸

久田勘鷗

大鼓 河村総一郎
小鼓 船戸昭弘

笛 竹市 学

地謡 伊藤裕貴
吉沢 旭

祖父江修一
山階彌右衛門
坂井音隆

休憩 二十分

能

千手

平重衡 観世三郎太
千手前 観世清和

宗茂 飯富雅介

大鼓 河村眞之介
小鼓 久田舜一郎

笛 鹿取希世

後見 上田公威
山階彌右衛門

地謡 久田勘吉郎
本田 勲

坂井音隆
井上裕久
武田宗和
坂口貴信

追加

(四時半頃終了予定)

◆千手(せんじゅ)

【あらすじ】平重衡は、清盛の五男で、一ノ谷合戦では、大手(正面)の陣となつた生田ノ森方面の副将でしたが、戦に敗れ、捕われて鎌倉に護送されます。鎌倉では、狩野介宗茂に預けられ、幽囚の身で世の無常を嘆いています。源頼朝は、この若くりしい平家の公達に、少なからず同情を寄せ、自分の侍女で、手越ノ宿の長者の娘である千手ノ前をつかわし、後いくばくもない命のつれづれを慰めます。ある春の雨の降る夜、宗茂は重衡に酒を勧めようとやってきました。そこへ、千手も琴、琵琶をもつて訪れます。重衡は、先日、千手を通じて頼朝に願ひ出てあつた出家の望みがかなわぬことを告げられ、これもまた、父清盛の命令とはいひながら、南都(奈良)の仏寺を焼いた罪業の報いかと嘆きます。千手は重衡の心中を思いやり、酒の酌をし、朗詠をうたい、舞をまつて、心をひきたたせようとします。重衡も興にのつて、琵琶を弾くと、千手も琴を合わせ、夜の更けるまで、つかの間の小宴を楽しみますが、翌朝、重衡は勅命によって、また都へ送り帰されることになり、鎌倉を出立します。千手は、その後姿を涙ながらに見送るのでした。

【主催】名古屋観世会

【共催】公益財団法人 能姫町財団